標本棚

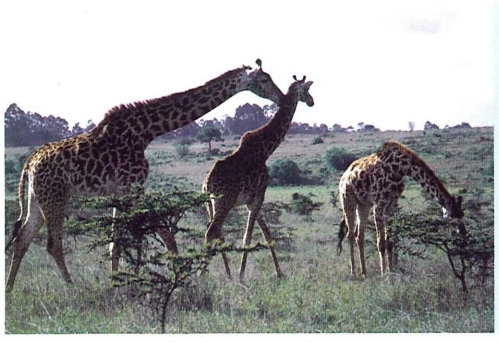
『第一回フォトコンテスト』優秀作品ご紹介

このコーナーは、会員の皆さんに参加していただく『イベント広場』です。毎回、楽しい企画を考えております。奮ってご参加ください。

今号は『第一回フォトコンテスト』の優秀作品のご紹介です。皆さんのご協力により、珍しい写真や力作が数多く寄せられ、その中から厳選させていただきました。

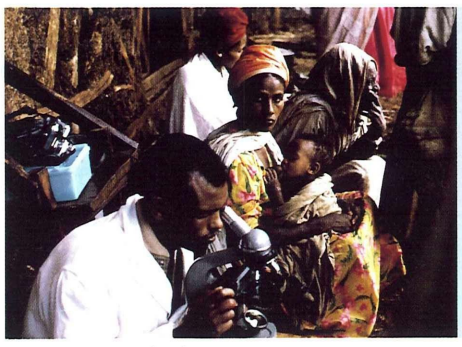
今後、第二回、第三回と継続開催する予定です。お楽しみにお待ちください。

『ケニアの草原にて』



田中生男様・(財)日本環境衛生センター

『熱帯病との戦い』



田中生男・(財)日本環境衛生センター

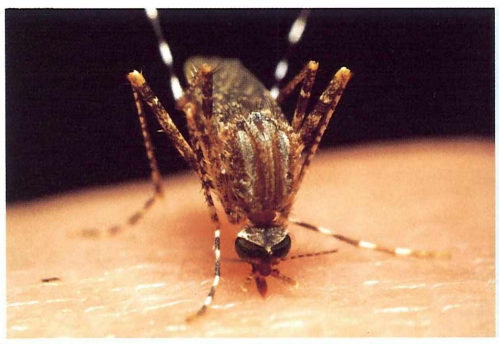
『虹』

三井千代子様・(社)日本パイロット協会

『葉上のランデブー』

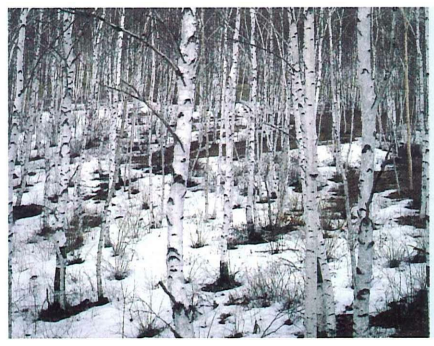
其田益成様・其田写真事務所

『ヌマカの吸血』



其田益成様・其田写真事務所

『早春の白樺湖』



栗原宏文様・㈱栗原工芸

『シティバット』

橋本憲久様・㈱フジカラー アサミ

次回は『ちょっと笑える食べ物話特集』です。食べ物にまつわる素材の話、調理の話、レストランでの話、その他、食べ物にまつわる失敗談や、ちょっと笑える体験談をお寄せください。締切りは平成８年３月末日です。

羽音

世にも不思議な物語

アペックス産業㈱・相談役
元木三喜男

昭和二十七年春、戦後の日本が脱皮を重ねる時期である。ある日、突然、米人から「茅ケ崎南湖院の建物に来てほしい」という電話が入った。

会ってみると眼光けいけいたる陸軍大尉で「鎌倉、藤沢、辻堂に散在している二十五軒の家屋全部の害虫駆除をしてほしい」という依頼であった。

私は、一戸二万円、計五十万円と口頭で答えたところ「見積書不要。支払いは作業終了後に新券現金で。領収書もいらない。ただし一切、口外無用。すべて忘れてほしい」と念を押された。

当時は、終戦直後の下山国鉄総裁の事故死や共産党・鹿地亘氏の怪死、その他、世情騒然としていた時で、米軍が血まなこになって対共産党活動を行なっていた頃。後になって私は、二十五軒は生え抜きのCIA機関員のアジトであると思った次第である。

特異な時期ならではの出来事で、それから二度とこの種の仕事に遭遇することはなく、今もって不思議な話として記憶に止まっている。

「生命」

リパックス建設環境計画
清水　博

宇宙が誕生して百二十億年あまり。太陽系の地球が誕生したのは四十六億年前。地球に最初の生命が現れたのが三十六億年前と言われる。

人類が類人猿から分かれ、その知性の第一歩を記したのは、高々ここ〇・〇三億年前のこと。以来、原始生命から人類に至るまでの生命群がこの地球上に存在している。

その生命群は「自己の生存」を賭けて、他の生命体の排除を本能的に行なっている。自己と非自己との相違を認識し排除するシステムが「免疫系」なのであろう。

その「生命」は、意識的に進化の努力をしたわけではなく、なにかの必然によって進化してきたとしか言いようがない。

こうした宇宙の壮大なる事業をイメージすると、一生命体の人類が知性を与えられ、自然現象を克服することの代替に、文明を築き、歴史を残してきていることの必然や、それは偉大な宇宙のほんの微少な営みに過ぎないことや、その生命体の維持のために日々辛苦し努力していることのわけが分かりかける気がする。

不便もいいものです

(財)日本環境衛生センター
田中　生男

九月二十二日から一年間の予定で日本の裏側グアテマラに滞在。デング熱を媒介するネッタイシマカ対策の仕事に就いています。

皆さんの新しい情報誌創刊の話を聞きながら、一方で、情報や物の不足した世界を甘受しているわけです。

何回かの滞在経験があるとはいえ、文明社会に入りびたっていた身としては、やはり物不足の不便さには悩まされています。

本屋に行っても、本の種類や数が極めて少なく、市内地図一つ手に入れるにも苦労。私たちが目的とする物は、ほとんど手に入りません。仕事や生活をするにも、もし、日本から必要な器材を持ってこなければ、不自由さはかなりのものです。

しかし、これも便利さに慣れすぎた私たちだからこそ、感じるものなのでしょう。便利なものが、必ずしも必要というわけではなさそうです。しばらくは、紙切れ一枚捨てないという「生活の知恵」が必要な暮らしを楽しみながら、一年を過ごそうと考えています。

会員図鑑

●猪田　昭三
アペックス産業㈱
営業顧問(最年長)

【科属】センゼン科オシエマ属。
【形態】昭和三年生まれ。戦前・戦中・戦後を生き抜いてきただけに、気骨に溢れ、まだまだ若い者には負けないと意気盛ん。獣医科出身ながら、営業一筋五十年の超ベテラン。
【習性】早朝出勤で仕事に取り組む姿勢には若手も一目。やや教え魔というのが玉に傷。こよなく酒を好むが、最近は週二日の休肝日を厳守。健康管理も万全。

●山原　博
アペックス産業㈱
ペストコントロール事業部(最年少)

【科属】シンジン科ノリノリ属。
【形態】昭和四十九年生まれ。実家が花屋で幼少より植物に親しむ。公園樹木のメンテナンスという新分野の担当にはうってつけ。スペシャリストめざして修業中。
【習性】ネアカの性格で得意先や先輩にも可愛がられている。千葉出身でみこし大好き人間。何事にも乗りやすいタイプで、おだてられると……。二十歳の若さと行動力がまばゆく光る。

触角BOOK

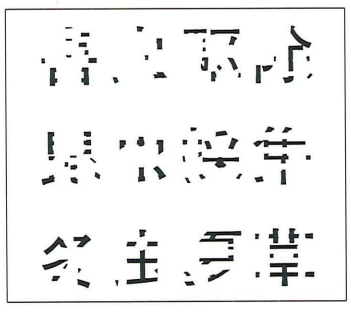
動物の超不思議能力
大災害の「予知」と動物達!!

●著者
貴吉　達郎
●発行
日本テレビ放送網
株式会社
●定価
850円

☆動物の災害予知能力については、広く知られるところだが、阪神大震災でもそれは散見された。人間がそれを問題視しなかっただけである。一方、国家的な地震予知体制の現状は、ほとんど予知不可能というのが本音。しからばネズミやヘビ、コウモリ、その他、数多くの小動物の行動をもっと観察して、役に立てるべきという筆者の、事例紹介を列記した主張には説得力がある。

むしくいず

●出題
書初めの宿題の文字が虫に食われて読めなくなってしまいました。判読してください。
3つの四文字熟語に共通している漢字は何でしょう。それが問題です。



■応募規定　応募は『APEX CLUB』の会員（表面左上を参照）に限ります。
ハガキまたはファクシミリで、答、住所、氏名、職業を明記の上、ご応募ください。本紙に対するご意見・ご要望もぜひお書き添えください。
〒105 東京都港区芝２の23の４
アペックス産業㈱内・APEX CLUB宛
ファクシミリ番号　03-3455-6558
締切りは平成８年１月31日（当日消印有効）
正解の中から抽選で３名様に記念品を差し上げます。